

練馬区

学 校 名	練馬区立旭丘小学校
コーディネーター数	1人
ボランティア数	60人

□ 活動の概要

1 授業のゲストティーチャー

○学習内容に関連した特技や技術をもっていらっしゃる地域の方等に、直接児童と触れ合いながら学習支援をしていただいている。

・3年生 書写「書き初めを書こう」

初めて書き初めを書く3年生にとって、文字の配置や大きさなどが半紙に書くのと違い、難しい。そこで、地域で書道を教えていらっしゃる先生をお招きして、書き初めの指導をしていただいた。



・6年生 社会「戦争体験の講話」

6年生の社会科学習「戦争と人々の暮らし」に合わせて、実際にご自身が広島で被爆した経験を持つ方に、児童に向けて話をしていただいた。教科書や資料集とは違い、直接話を伺い、児童からも質問をするなど学習を深めることができた。

2 校内の畑を活用した野菜栽培

○エコアドバイザーの方に依頼し、校内の畑の管理に協力していただいている。毎週金曜日に定期的に来校され、畑の管理をするだけでなく、児童が育てている野菜の種まきや除草、収穫に関わってもらっている。今年度は1・2年生が育てたサツマイモと一緒に収穫した。その他、練馬大根を育て、タクアン作りをする活動にも協力していただいている。

□ コーディネーターの役割

○該当学年の担任と実施する関係機関の方との連絡調整。

○実施に当たっての諸準備。(活動場所の確保、必要物品の準備、事前連絡等)

○当日のサポート及び実施後のまとめ、次回への連絡調整等。



□ 活動上の工夫や配慮等

○外部講師を招く授業について、学校行事との調整を行い、該当学年だけでなく、副校長や教務担当教員とも確認する。

□ 活動の成果や感想 (実践を通じた児童・生徒、地域の活動者、学校等の声や反応など)

○学校支援コーディネーターが講師の方と連絡調整することで活動がスムーズに実施できる。

○学校支援コーディネーターが参画することで地域のよさや学校の特徴をより活用した教育活動を進めることができる。

○児童にとっても体験的活動が行えるため、学校生活が生き生きとしたものになっている。

○ゲストティーチャーを招いた授業を保護者にも公開している。保護者からは「様々な体験ができてよい」等の意見が聞かれ、学校への信頼や協力が得られている。